神道・仏教・キリスト教、一緒に大仏前で黙とう

2018年03月12日 14時24分

大震災

鎌倉大仏前に集った３宗教の宗教者ら（１１日午後、鎌倉市の高徳院で）

神道や仏教、キリスト教の宗教者たちが１１日、合同で東日本大震災の犠牲者を追悼し、被災地の復興を願う祈願祭を神奈川県鎌倉市長谷の高徳院で行った。

３宗教の関係者らでつくる鎌倉宗教者会議が２０１１年から毎年、市内の神社や寺院、教会で順番に続けている。８回目となる今年は約１２０人が出席し、震災が起きた午後２時４６分に参拝者とともに黙とう。その後、大仏前で神道、キリスト教、仏教の順にそれぞれの作法で祈りをささげた。

高徳院の佐藤孝雄住職は「被災地の復興は道半ば。鎌倉の心は常に被災地とともにあるというメッセージを届けたい」と話していた。

2018年03月12日 14時24分 Copyright © The Yomiuri Shimbun